

8. 使用上のご注意と保守について

本機の性能を十分に発揮するため、次の点には充分注意してください。

- (1) セットに使用する電源は指定のバッテリーパックをご使用ください。直接セットの電源端子に定格以上の電圧を加えないようにしてください。
- (2) セットは厳重な管理のもとで生産、調整されていますのでむやみにセットのカバーを外し、コアやトリマーなどにさわらないようにしてください。
- (3) セットを寒冷地で使用する場合は温度の低下により Ni-Cd 電池の能力が低下してセットを満足に動作させられないことがありますので充分保温して運用してください。
- (4) 長期間、運用しないときは必ず電池をセットから取り出しておいてください。
- (5) 雨がかかったり高温になる場所、極端に振動の多いところやほこりの多いところなどはさけて使用してください。

オプション

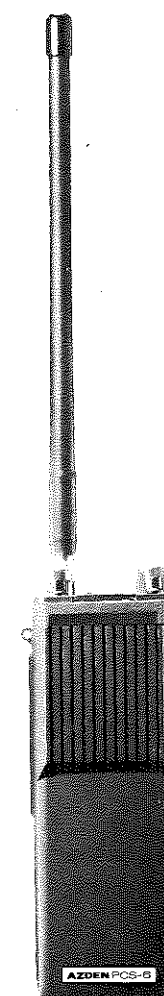
- | | |
|------------------|------------|
| ① スピーカーマイクロホン | (SDX-316) |
| ② ニッケルカドミウム電池パック | (BP-500FM) |
| ③ ソフトケース | (LC-1) |
| ④ バッテリーチャージャ | (BC-10) |
| ⑤ チャージエイド | (JJ-12) |
| ⑥ ヘッドセット | (HS-36) |

AZDEN®

PCS-6

50 MHz FM TRANSCEIVER

取扱説明書



定格

〔一般仕様〕

- 受信周波数帯域 50.00～53.99MHz
- 送信周波数帯域 51.00～53.99MHz
- 電源電圧 標準 9.6V
最大 11.5V
- 消費電流 受信時 220mA以内
スケルチ時 約50mA
送信 (3W時) 約850mA
" (約0.3W時) 約350mA

- 接地極性 マイナス接地
- 使用温度域 $-10^{\circ}\text{C} \sim +50^{\circ}\text{C}$
- 寸法 184(H)69(W)40(D)mm
- 重量 580g (アンテナ、電池込)
- 付属品
ヘリカルアンテナ
ニッカド電池パック
ニッカドバッテリーチャージャー
ベルトクリップ
取扱説明書、保証書

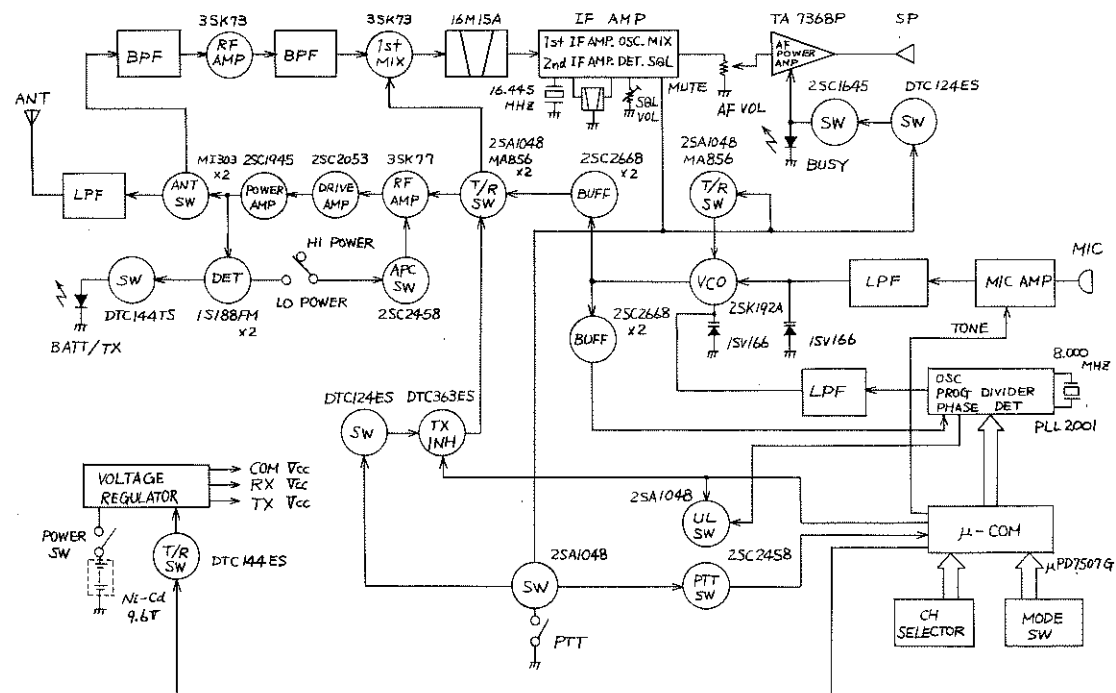
〔送信部〕

- 送信出力 3W(Hi),0.3W(Lo)
- 変調方式 リアクトランス変調
- 電波型式 F₃
- 空中線インピーダンス 50Ω
- 最大周波数偏移 ±5KHz
- オフセット周波数 ±1MHz
- 使用マイクロホン エレクトレット

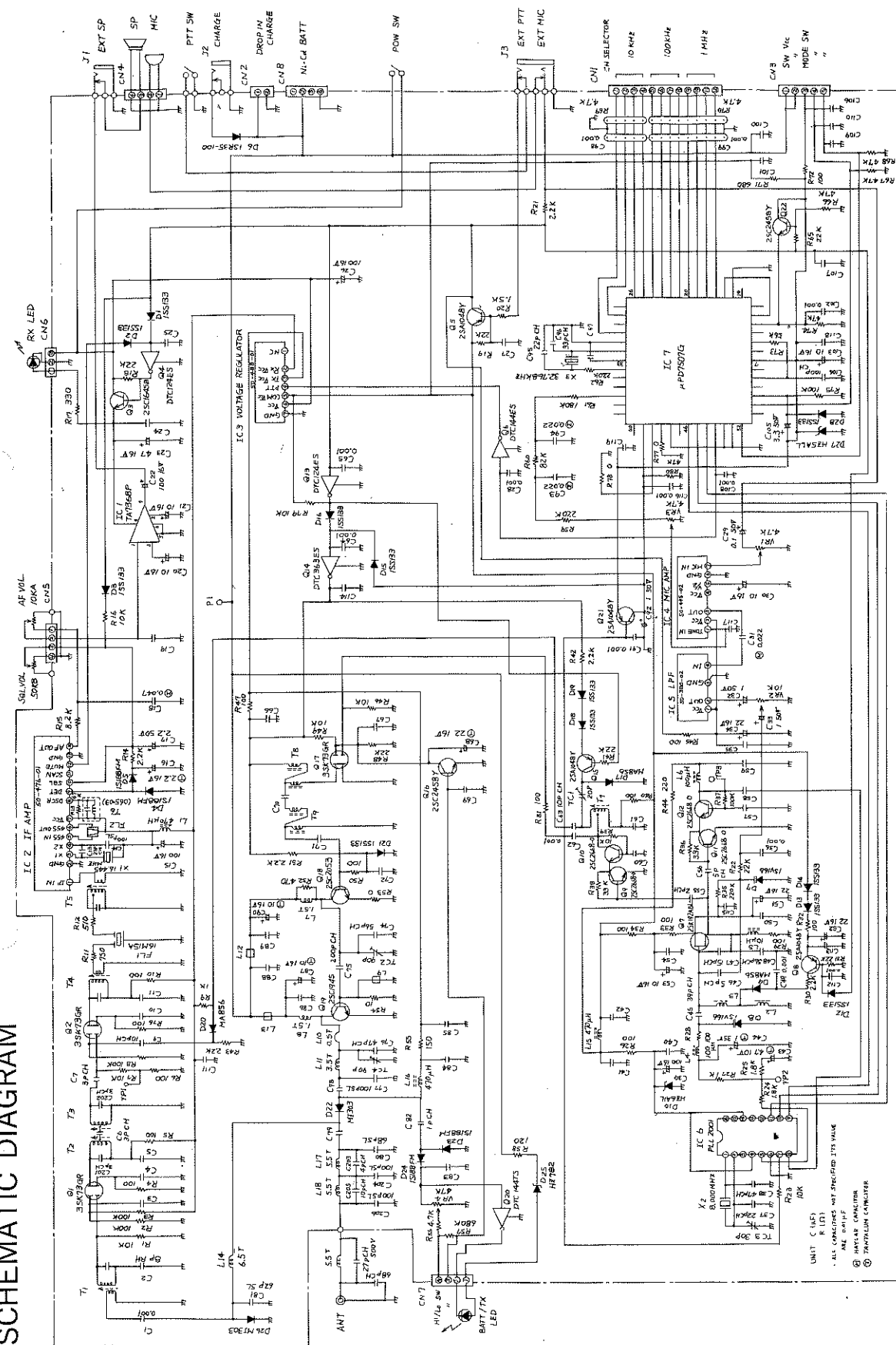
〔受信部〕

- 受信方式 ダブルスーパーヘテロダイナミック
- 受信感度 12dB SINAD 0.19 μ V以下
- 選択度 $\pm$ 6KHz以上／(−6dB)
 $\pm$ 15KHz以下／(−60dB)
- 低周波出力 0.2W以上 (8 Ω 負荷歪率10%以下)
- 中間周波数 第 1 16.9MHz
 第 2 455KHz

ブロックダイアグラム



SCHEMATIC DIAGRAM



1. はじめに

この度は PCS-6 FM トランシーバーをお買い上げいただきありがとうございます。
ございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

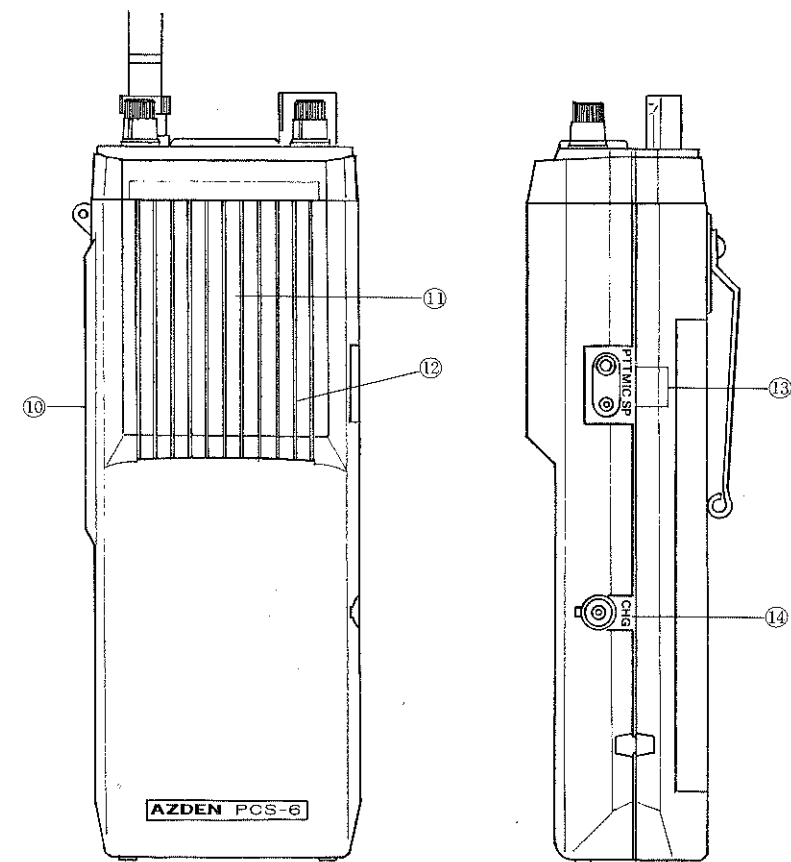
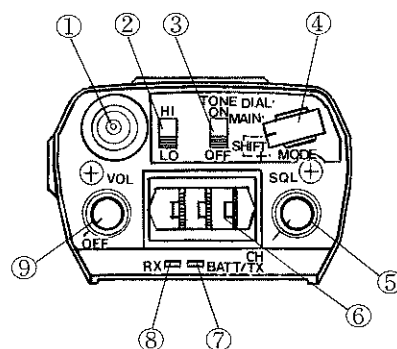
- 本機には [一般仕様] にかかっている付属品がついていますのでお確かめください。
- 本機には必ず保証書が添付されています。この保証書はPCS-6 FMトランシーバーの品質を保証するものです。お買い上げ店名、住所、お買い上げ年月日が記入されていることをお確かめ下さい。
- 本機は厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故等により、破損などのトラブルがあったり、取扱上ご不審な点がありましたらお買い上げ販売店または当社営業部 (0422-55-5115) まで、ご連絡下さい。
- 商品に万一不具合な点があったり、故障が生じたときは必要な事項を記入した保証書と具体的な症状を明記のうえ、お買い上げの販売店 もしくは 当社品質保証部サービス課 (0422-55-5113) までお送りください。なお、保証規定については保証書の裏面をご覧ください。

2. アマチュア局の開局 (免許申請) について

本機により、アマチュア無線局を申請する場合、申請書に右記事項を記入の上、申請して下さい。本機はJARLの登録機種ですから、保証願に登録番号AD-21を記載することにより、送信機系統図を省略することができます。

区 分		送 信 機
発射可能な電波の 型式・周波数の範囲		F ₃ 50MHz帯
変 調 の 方 式		リアクタンス変調
終段管	名称・個数	2SC 1945×1
	電圧入力	9.6V, 6W

3. 各部の名称、動作、使い方



① ANTコネクター (BNC)

付属のヘルカルアンテナを装着します。固定局やモバイル局などでは50Ωに調整された外部アンテナが接続できます。

② 送信出力切替スイッチ (HI/LOW)

送信出力はHIGH (約3W) LOW (約300mW) に切替えるスイッチです。

③ 外部TONEスイッチ

内蔵以外のトーンエンコーダーを動作させる時ONにします。

④ MODEスイッチ

- DIAL チャンネルセレクターの指示の送受信周波数で動作します。
- MAIN 送受信周波数ともに 51.00MHz に固定されます。
(1MHz 台が 0・1・2・3 のアマチュア無線周波数帯の場合に限ります。)
- SHIFT- 受信周波数に対して1MHz マイナスした周波数で送信します。
(内蔵の88.5Hz のトーンが動作します。)
- SHIFT+ 受信周波数に対して1MHz プラスした周波数で送信します。
(内蔵の88.5Hz のトーンが動作します。)

※ 実際にシフトした送信周波数が 51.00 ~ 53.99MHz のアマチュアバンド範囲外になる場合は送信しません。(赤色の送信LEDが点灯しません。)

※ 54MHz 台でマイナスシフトをしてアマチュアバンド範囲内になる場合でも送信しません。

⑤ SQL (スケルチコントロール)

無信号時の「ザー」という雑音を消すつまみです。時計方向に回すほどスケルチが深くなり、弱い信号ではスケルチが開かなくなります。通常は雑音が消える点より少し時計方向に回した位置で使います。

⑥ チャンネルセクター

④のMODEスイッチの「DIAL」時の送受信周波数の設定に使います。

1 桁目は『MHz』・2 桁目は『100 KHz』・3 桁目は『10 KHz』表示になっています。

※ 50.00～53.99 MHz アマチュアバンド範囲外は受信しません。

※ 51.00～53.99 MHz アマチュアバンド FM 帯域以外は送信しません。

⑦ BATT/TX表示

送信時に点灯します。又、PTTスイッチを押して暗くなってきたら電池の電圧が低下していますから充電が必要です。

⑧ RX表示

受信信号が入感し、スケルチが開いたときに点灯します。ただし、スケルチを反時計方向に回してスケルチが開いている状態では無信号時にも点灯します。

⑨ PWR/VOL (パワー/ボリュームコントロール)

OFFの位置より時計方向に回すと電源が入り、さらに回すとスピーカーからの音量が増加します。

⑩ PTTスイッチ

スイッチを押すと送信し離すと受信になります。オプションのスピーカーマイクロホン(SDX-316)を使用した時は動作しません。

⑪ スピーカー

超薄型のスピーカーが内蔵されています。

⑫ マイクロホン

エレクトレット・コンデンサーマイクユニットが内蔵されています。

⑬ 外部マイクロホンジャック

外部マイクロホンを接続するジャックです。オプションのスピーカーマイクロホン(SDX-316)が使用できます。SDX-316を接続した時、内蔵スピーカー、マイクロホン、PTTスイッチは接続が断となり動作しません。送受信の動作はSDX-316にて行います。

⑭ チャージャージャック

付属のニッカドバッテリーチャージャ(BC-10)を接続する充電用ジャックです。但し BC-10は AC アダプタではありませんから、接続しながらの運用はできません。

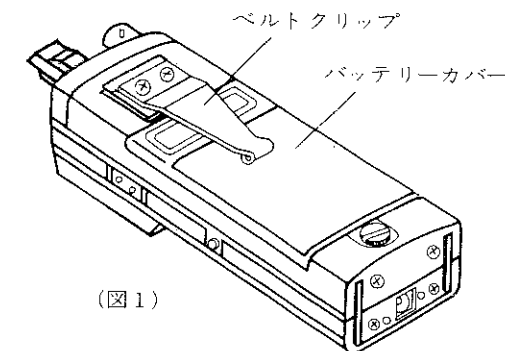
4. バッテリーパックの取扱い方法

①バッテリーパック(BP-500FM)はセットの後側にあります。ベルトクリップの2本のネジとバッテリーカバーのネジをはずします。(図1)

②電源スイッチを切ります。

③バッテリーについている4pinのコネクターをはずせばバッテリーをとり出すことができます。(図2)

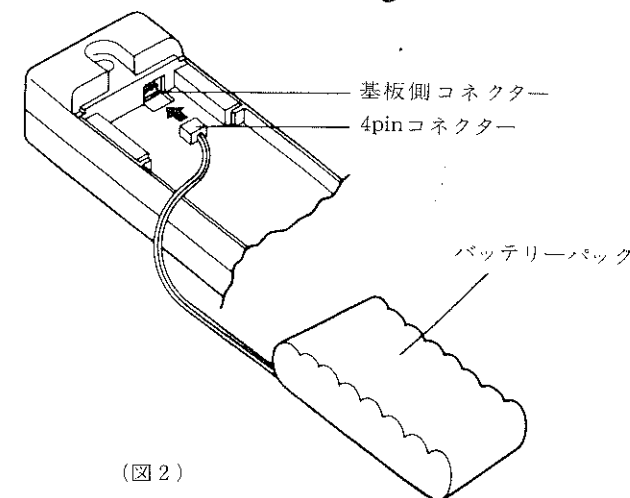
(注. コネクターのさしこむ方向をまちがえないでください。)



(図1)

5. バッテリーパックの充電時期

電池の電圧が低下すると送信出力が減少したり、本機の性能を十分に発揮させることができません。PTTスイッチを押したとき赤色LEDが暗くなってきたり、消えたら充電する必要があります。(電池電圧が約9Vまで低下しますと、LEDが消えます。)



(図2)

6. バッテリーパックの充電方法

バッテリーパックを本体にそう入し、電源スイッチを切り、バッテリーチャージャー(BC-10)のプラグをチャージャージャックにそう入し、BC-10をコンセントにさしこみます。充電時間は約6時間です。又はオプションのチャージエイド(JJ-12)を使いますとバッテリーパックを本体から取り出して充電することができます。

7. ニッカドバッテリーの扱い方と注意

①ニッカドバッテリーを充電するときの温度は10℃～35℃で行ってください。0℃より低いか、45℃より高い温度では充電効率が悪くなります。

②ニッカドバッテリーを放電したまま長期間、放置しておくと再充電に時間を要したり充電できなくなることもあります。時々、バッテリーチェックを行ない自然放電などで電圧が下がっている場合は充電しておくようにして下さい。

③バッテリーチャージャーは付属のBC-10以外のものは絶対使わないでください。